

くまもと経済

C 表紙の人
Cover Story

米澤 誠
新生2丁目に本社移転し連携強化
ドゥ・ヨネザワ企業グループCEO

2 2022
月号
VOL.488



熊本市ホテル 23年 客室数 2300 室超に

「熊本ヴォルターズ」新アリーナ建設へ 地域活性化にスポーツの“チカラ”
異業種、第三者の視点から“経営改革” 娘婿経営者が描く“明日”

特集



▲前列左から小牧裕明知事公室長、木村敬副知事、蒲島郁夫知事、星子桜文代表、崇城大学2年・夏野 さん、同2年・SHAMSUL(シャミスル)さん。後列左から熊本大学文学部4年・笠原桜さん、松下良介(株)DESSIN代表、同社員・尾方剛さん、山下秀貴エアポートホテル熊本取締役、崇城大学4年・河上 さん、甲野 善一郎崇城大学芸術学部デザイン学科准教授、眞藤隆次ディレクター、成尾雅貴(株)えある社長



蒲島 郁夫
県知事



星子 桜文
代表



▲ブルジュ・ハリファなど超高層ビルが並ぶドバイ。委員10人は12月1日から7日夜まで滞在した



▲永青文庫、光助、栗川商店、上野窯などが協力した



▶出展物や来客の状況を説明する眞藤ディレクター



◀ドバイでもっとも営業部長が人気で嬉しいと語る蒲島知事

来た。王族や政府要人らにも熊本への関心度に手こたえを感じた」と挨拶。同行した眞藤隆次プランニングディレクターが現地の状況について詳しいレポートをした。蒲島知事は「めったにない機会。コロナ後の海外交流になるPRに取り組んで頂き大変感謝します」と御礼を述べた。(坂井木綿子)



ドバイ国際博覧会に熊本県PRブース ～蒲島知事らへ出展報告会～

熊本ドバイ万博プロモーション実行委員会



▲ドバイ国王王族の一人シェーカ・モザール・マクトゥーム氏から熊本県県への感謝状を受け取る星子代表



▼来場者へ説明するのは熊本の魅力についてレクチャーを受けている現地スタッフたち(左2人)



▲くまモンと写真に納まる現地の子ども

熊本ドバイ万博プロモーション実行委員会(星子桜文代表)は12月28日、熊本県庁知事応接室で「ドバイ万博における熊本県PRブース出展」報告会を行った。これはアラブ首長国連邦で開催中のドバイ国際博覧会(約190カ国出展、2022年3月31日迄)に同委員会が12月25、4日出展を実施した経過と結果を蒲島郁夫県知事らへ報告した。万博出展企業の一つ(株)エム・テックス(東京都)から、星子代表が2020年モリリシャス沖日本船座礁事故の際に同社製品マジックファイバーを送り込む支援に尽力した縁で、急ぎ熊本へのPRに利用して欲しいと無償提供の申し出があった。そのため県や崇城大学、有志で協力して約30㎡のブースを出展した。同万博に都道府県域で出たのは熊本のみ(次回開催地枠の大府を除く)。

報告会では星子代表が「まず同期間コロナ禍の状況も落ち着いており無事に予定の行動を終えました。このチャンスに周囲のご理解を頂け、準備が短かつた割には精鋭スタッフで対応出